

第4次

千歳市
食育
推進計画

おいしい！たのしい！大好きちとせ

千歳市
令和6年3月





はじめに

食べることはとても大切なことです。私たちの体は、食べたものでできているからです。毎日、パンしか食べない生活を送っていたら、今のような自分になっていたでしょうか。体の中に取り入れるものは、よくよく考えて、選ぶことが大切だと思います。

「食育」とは、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践できる力を育むことです。そして、「食育は生きる上での基本」であり、子どもだけではなく、今の自分にあつた健康的な食を考えることや、誰かと一緒に食事をしたり、季節や地域の食を楽しんだりすること、親や祖父母から伝わる食文化を次の世代につなぐことなど、大人にとっても大切な生活の営みの一部であります。

近年では、ライフスタイルの多様化などが進み、インターネットの普及などにより情報があふれる社会の中で、食に対する価値観は変化しています。とりわけ、若い世代における朝食の欠食や栄養バランスに配慮した食事ができていないこと、スリムであることを意識する若い女性の「やせ」や、中高年の「肥満」などの不適切な体重管理により、やがては生活習慣病を引き起こし、様々な病気の発症につながってしまうなどといった多くの課題があります。

本市では、食育基本法に基づく市町村計画として、今回で第4次となる千歳市食育推進計画を策定しました。本計画は、令和6年度から5年間を期間とし、「生涯にわたり健全な心身を培う食育の実践の環を広げよう」という基本理念のもと、市民の皆様に向けた食育に関する施策について、新しい取組を取り入れながら総合的に展開してまいります。

本市の子どもたちや私たち自身にも、「心と身体の健康を維持すること」、「食べ物を選択し、食事づくりができること」、「大切な食文化や習慣を理解し次の世代に伝えること」、「食事の重要性や楽しさを理解すること」、「一緒に食べたい人がいること」、「食べ物やつくる人への感謝の心を抱くこと」など、『食べる力』を育むよう、家庭やこども園、学校、地域などが連携・協働する「環（わ）」を広げていきましょう。

最後になりますが、本計画の策定に当たり、御協力をいただきました「千歳市保健福祉調査研究委員会」の委員の皆様をはじめ、アンケート調査などを通じて貴重な御意見、御提言をお寄せいただきました市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和6年3月

千歳市長 横田 隆一

目次

第1章 計画策定の趣旨	1
1. 食育推進の趣旨	1
2. 計画の位置付け	2
3. 計画の期間	4
第2章 食育の現状と課題～食育の問題点って何？～	5
1. 千歳市の食育を取り巻く現状	5
(1) 人口の推移	5
(2) 世帯構造の推移	6
(3) 健康に関する状況	7
2. アンケート調査からみた食育の現状	11
(1) アンケート調査概要	11
(2) アンケート調査結果	13
3. 前計画の目標達成状況と今後の課題	52
(1) 前計画の目標達成状況	52
(2) 千歳市の食育に関する課題	53
第3章 「おいしい!たのしい!大好きちとせ」を目指して	54
1. 目指すべき方向性	54
2. 目標指標の考え方と目標数値	57
3. 施策の展開	58
(1) 取組内容	58
(2) ライフステージ別の取組一覧	67
第4章 計画の推進と評価	69
1. 計画の推進体制	69
2. 食育推進における役割	70
資料編	71
1. 策定経過	72
2. パブリックコメントの結果概要	73
3. 千歳市保健福祉調査研究委員会	74
4. 千歳市保健福祉推進委員会	76
5. 千歳市食育推進計画庁内検討会議設置要綱	78
6. 用語解説	80